

# 東北大学資料

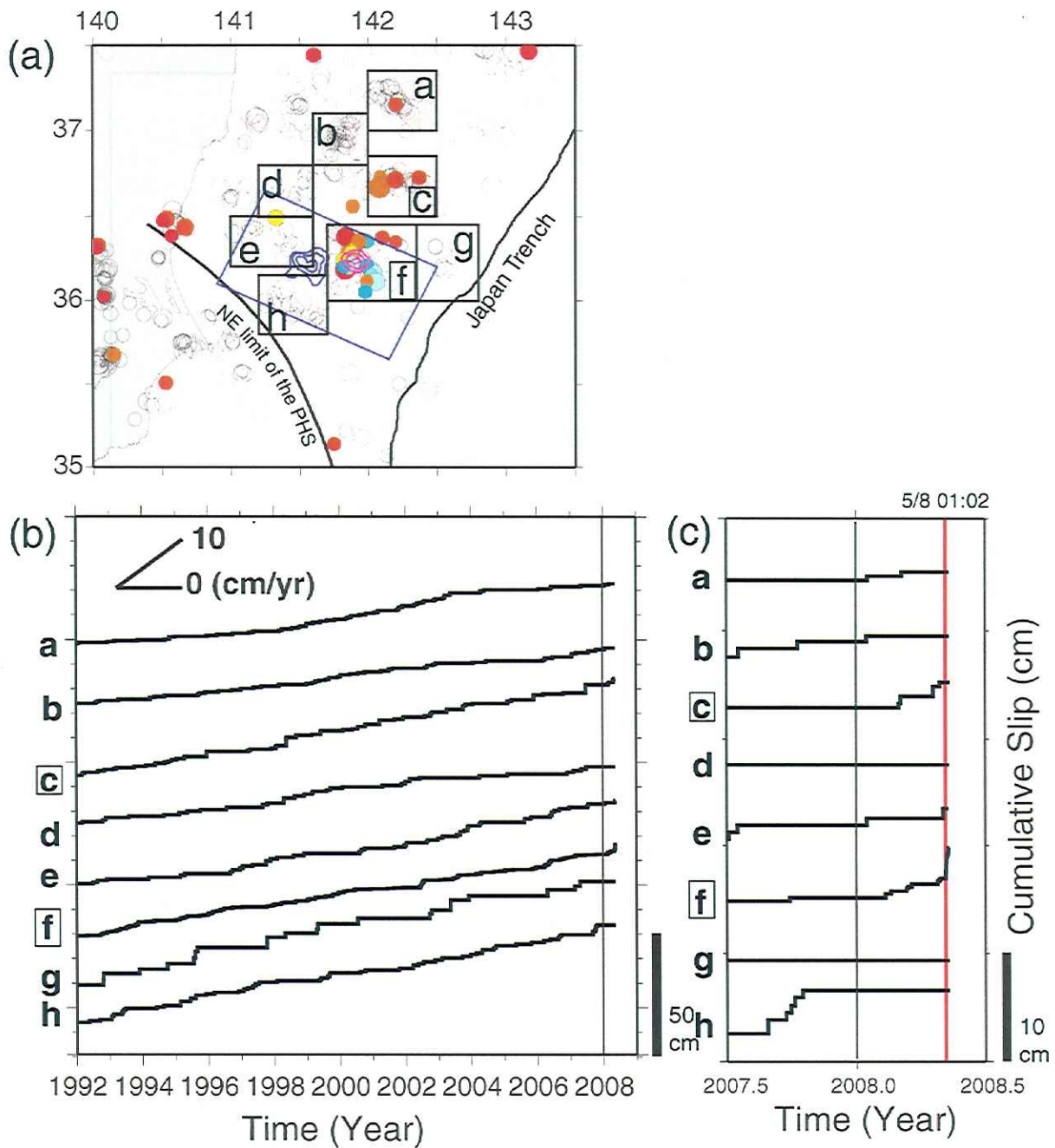


図3. M7.0の地震の周囲の小繰り返し地震から推定した、プレート境界の準静的すべりの時間推移。(a) 推定に用いた小繰り返し地震グループの位置(丸印)。a-hの矩形で示した領域の平均のすべりを推定した。色がついている丸は、図2と同様に、2008年2月1日から5月12日までに地震が発生したグループでカラスケールも同様。コンター、青色矩形は図2、黒太線は図1と同様。(b) 1992-2008年5月12日の積算すべり。(c) 最近1年間の積算すべり。図b,cでは、黒の縦線で2008年1月1日、赤の縦線で2008年5月8日のM6.4の地震の発生時を示した。データの終わり(線の右端は、2008年5月13日)。